

平成23年度一般会計補正予算などを可決

市議会6月定例会が6月9日に招集され、22日までの14日間の会期で開かれました。上程された議案は、にかほ市条例の一部改正、市有財産の無償譲渡、平成23年度一般会計補正予算など7件です。すべて原案のとおり同意、可決されました。

上程された主な議案

◆人権擁護委員候補者の推薦について

現人権擁護委員1名が、9月30日で任期満了となるため、その後任として齋藤乃里子氏（小滝）を候補者として推薦することについて同意されました。

◆にかほ市条例の一部を改正

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、にかほ市条例の一部を改正するものです。東日本大震災に係る個人住民税と固定資産税の特例等に関する規定を加えるものです。（住宅や家財等の損失に係る雑損控除の特例、住宅ローンに係る住宅借入金等特別税額控除の適用期間の特例など）

◆にかほ市国民健康保険条例の一部を改正

地方税法施行令の一部を改正する政令等の改正に伴い、にかほ市国民健康保険条例の一部を改正するものです。

主な改正点は、基礎課税額の限度額を「50万円」から「51万円」に、後期高齢者支学金等課税額の限度額を「13万円」から「14万円」に、介護納付金課税額の限度額を「10万円」から「12万円」に引き上げることなどです。

◆市有財産の無償譲渡について

市では、老人憩の家や農業関連施設等、建設目的が果たされた施設について、地域で管理運営してもらえよう該当自治会等と協議を継続して行っています。奈曾会館について、小滝自治

治会長から無償譲渡を受け入れたいとの申し出があったことから、無償譲渡するものです。

・無償譲渡する財産
小滝老人憩の家奈曾会館

【所在】
にかほ市象潟町小滝字北田124番地1

【構造】
木造平屋建
・譲渡の相手方
小滝自治会 会長 福川耕一

◆市道路線の認定について

道路改良による新たな路線を市道として認定したものです。

【認定した道路・区間】
（◎路線名、□起点、終点）
◎水岡横岡2号線
□横岡字下長田178〜昭和台78

◆平成23年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1億1,973万円を追加し、補正後の予算総額は、134億7,039万1千円となりました。
歳出補正の主なものは、集会所整備費補助金521万円、商工会共通商品券補助金1,000万円、津波避難地図改定業

務委託料105万円、住宅リフォーム支援事業補助金1,000万円の増額などです。

主な市政報告

～市長市政報告を要約～

◆東日本大震災の対応等

6月9日現在、にかほ市への避難者は、福島県から14世帯の46人、宮城県から10世帯の15人で、計24世帯の61人となっています。

4月に設置した「避難者支援センター」の職員により、週に1度訪問し、各種相談や情報提供、物資等の配付を行い支援しています。

市では、生活支援策として、民間のアパートや空き家などを借りて、避難している方々に1人につき1日1,000円、1世帯当月15万円を限度とする支援を、3カ月間行ってきました。今後は、長引く避難生活が予想されるため、実家・親戚および、旅館等へ避難している方も含め、避難者一人につき、月5,000円の「にかほ市商工会共通商品券」を配付し、生活支援を行います。

◆津波避難地図（津波ハザードマップ）について

21年4月に全戸配布した津波避難地図を、今回の大震災を踏まえ見直します。

見直しの内容は、基になっている住宅地図から、2,500分の1の都市計画図に変更し、全体の標高が、わかりやすいように表示します。また、現在指定の避難場所は、沿岸の自治会長等の協力により見直しを進めます。見直し後、「津波避難地図」を、沿岸地域の各世帯などに配布すると共に、市のホームページでも公開します。



21年に全戸配布した津波避難地図

◆新ごみ処理施設の用地選定について

業社に委託した用地の選定比較検討業務の報告書が完成し納

品されました。

用地選定評価は、土地利用計画、自然環境保全、防災面の各種法規制等の指定状況をもとに、候補地を広域評価し、さらに敷地状況、周辺環境状況、インフラ整備状況、収集運搬状況の、個別項目評価を加えたものです。

- 【候補地として想定した5カ所】
(1)両前寺浜中の一般廃棄物最終処分場南側
(2)三森字美濃輪のすずらん通りを南進して白雪川と交差する付近北側

- (3)金浦字館ヶ森の消防本部東側
 - (4)金浦町の一一般廃棄物最終処分場東側
 - (5)樋目野中物見山の(株)アースクリン秋田の北側
- その結果、金浦館ヶ森の消防本部東側付近が、最適地となっています。

今後は、最適地との結果が出た候補地について、議会と市民に説明し理解を得ながら、環境アセスメントを実施したいと考えています。

◆23年度の課税状況について

軽自動車税の調定額は5,800万円で、22年度当初と比較し1・0パーセント、約59万円

の増、固定資産税の調定額は、15億3,190万円で、22年度当初と比較し3・6パーセント、約5,760万円の減となっています。

◆新卒者等の雇用状況

今春の、本市に在住する高卒者の就職状況は、就職を希望していた71名のうち、68名がそれぞれの職場で、社会人としてスタートしております。3名の未就職者については、ハローワークに登録し、引き続き、就職活動中とのことです。

一方、3月末現在の有効求人倍率は、秋田県全体で0・50倍、ハローワーク本荘管内は0・39倍となっており、ここ1年は横ばい状況にあります。

◆ゴールデンウィーク中の観光客入り込み状況

東日本大震災による自粛ムー

ドや、鳥海山ブルーラインの部分開通などの影響により、「ねむの丘」利用者は前年同対比3・0パーセント減で、当市の観光スポット全体では、同24・1パーセント減の11万人の出入となっています。

◆姉妹都市等との国際交流事業

本年受け入れを計画していたショウニー市、諸暨市、クライストチャーチ市の3都市から、震災による福島第一原発の放射性物質漏洩問題が心配されるため、次年度への延期、または取り止めの申し入れを受けました。市国際交流協会と協議を重ねた結果、本年度の受入事業については全ての計画を中止。来年度以降の交流に向けた話し合いを続けることにしました。

なお、派遣を計画しているアナコーテス市およびショウニー市への訪問については、計画どおり実施し、アナコーテス市には中学生14名、引率4名の計18名が、8月4日から11日までの7泊8日の日程で訪問します。また、ショウニー市へは10月に中学生14名、引率4名の計18名の派遣を計画しており、中学生団員を募集しているところです。